

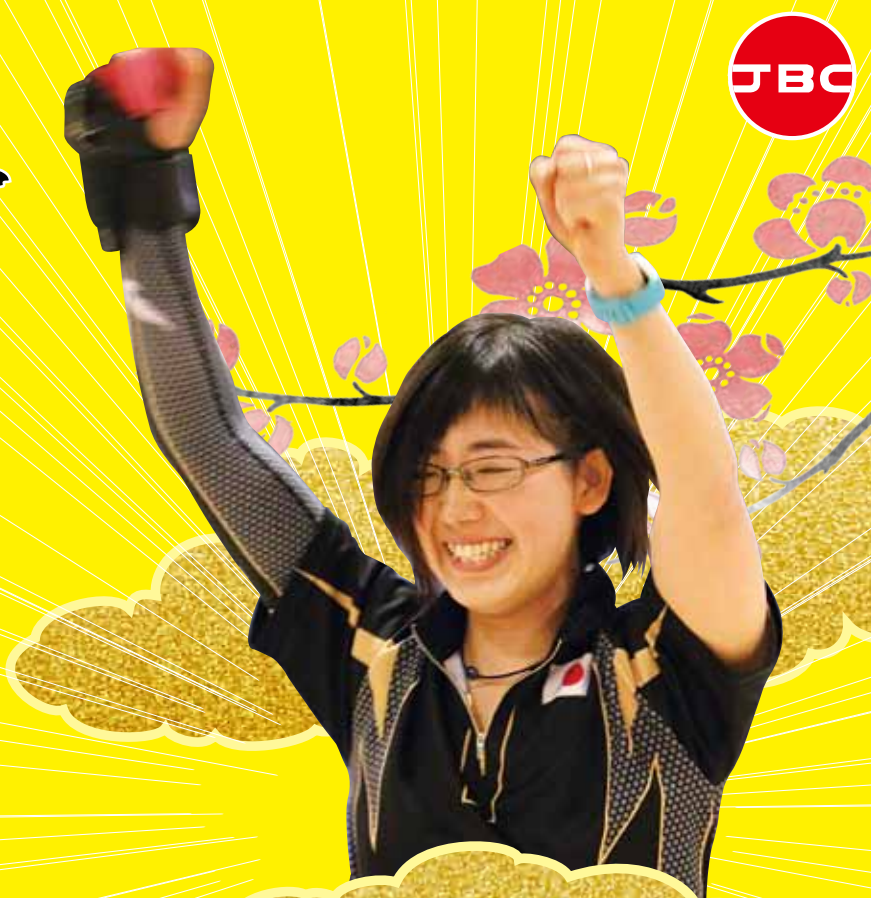
謹賀新年



男子ダブルス **銅** 宮澤拓哉・幸喜将太



男子トリオ **銅** 吉田大祐・和田翔吾・安里秀策



世界ボウリング選手権大会男女大会 2017

女子シングルス **金** 今井双葉

年頭挨拶



スポーツ庁長官 鈴木 大地

平成三十年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
スポーツは世界共通の人類の文化であり、全ての人が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い世界を創ることができると考えます。
現在ボウリング競技は、幅広い年齢

世界は夢から現実に



会長 北川 薫

公益財団法人 全日本ボウリング協会
あけましておめでとうございます。皆様方には、ご健勝にて新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年末、JBCに待望のビッグニュ

ースがもたらされました。我々が命運をかけて育ててきたナショナルチームが、世界ボウリング選手権大会男女大会2017の大舞台で大躍進を遂げたのです。女子シングルスで今井双葉選手が金メダルに輝き、男子はダブルス戦とトリオ戦の2種目で銅メダルを獲得いたしました。
年間を通じては、8月に第3回世界シニア選手権大会での銅メダル獲得、10月には第19回アジアユース選手権大会での金メダルを含め4種目で表彰台の活躍もありました。10代から60代までの幅広い世代で、世界を相手にトップの成績を残せたことになりました。選手たち、指導者の皆さんと目標を共有し達成できた感激にあふれています。
一年前のこの紙面では「新時代は世界が舞台」と記しました。そしてボウリングはスポーツとして「見る」「支

える」面での未熟さが課題とも述べました。今、日本は2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、アスリートに世界基準の成果が期待されています。このような中、まずはアスリートが活躍し、憧れられる存在となることから打開するという道筋が、現実味を帯びてきました。
ありがたいことに、ボウリングは日本国民にとって気軽に、身近で、親しみやすいスポーツです。ボウリングなら私にもできるかも、世界で活躍できるかも、と大いに夢見てください。そんなボウラーの皆さんをJBCは応援し、一緒に夢を叶えたいと願っています。
本年も、未来につながるボウリング像へと大きく前進させる所存です。ボウラーの皆様、ボウリングファンの皆様には、倍旧のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

層の人々から日常的なスポーツとして広く親しまれ、生涯スポーツとして愛好されるときに、高い技術が必要とする競技スポーツとしても発展しております。
昨年七月にドイツで開催された第三回世界シニア選手権大会においては、本大会では日本勢初メダルとなる女子チーム戦銅メダル、また、十月にフィリピンで開催された第十九回アジアユース選手権大会においては、女子個人総合における金メダルを含む合計四つのメダルを獲得するなど好成績を収められました。これもひとえに選手の皆様の日々のたゆまぬ努力と貴協会の御尽力の賜物と深く敬意を表する次第です。
これまでスポーツ庁は、国際競技大会に向けた競技力の向上をはじめとして、スポーツを通じた健康増進や地域・経済の活性化、国際交流・協力、さらに障害者スポーツの振興など、スポーツ行政を総合的・一体的に推進してまいりました。

現在我が国では、二年後の二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、大会準備やメダル獲得に向けた選手強化等にオールジャパン体制で取り組んでいるところであります。この二〇二〇年を中心に、国民のスポーツに対する関心が今後一層高まっていくことを思います。スポーツ庁としては、この気運の高まりを一過性のものとすることなく、二〇二〇年以降も誰もがスポーツに親しみ、健康で生きがいのある生活をおくれる社会、高齢化が進展しつつも成熟した活力ある社会の構築が重要であると考えております。
貴協会におかれましては、今後もボウリング競技の競技力向上や普及・発展に努めていただくとともに、国内・国際競技大会等でますます御活躍されることを期待いたします。
結びに、公益財団法人全日本ボウリング協会のさらなる御発展と、関係者のますますの御活躍を祈念申し上げます。年頭の御挨拶といたします。

Season's greetings and best wishes for the New Year

公益財団法人 日本体育協会

会長 伊藤 雅俊



2018年の新年を迎え、全国のボウリング愛好者の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、第2期スポーツ基本計画が策定されたことや2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会まで1000日を切ったことに伴い、多くの方がこれからのスポーツに対して、より一層関心を高め、深く考える機会を持ったのではないのでしょうか。

ボウリング界に目を向けてみますと、国民体育大会や日本スポーツマスターズでの実

施はもとより、ジュニア世代においては次々と有力選手が台頭して来ており、第19回アジア選手権大会ではチーム・個人ともにメダルを獲得されました。これに加え、ドイツで開催された第3回世界シニア選手権大会では日本初となるメダル獲得をされるなど、各世代で活躍を重ねられているものと感じしております。

これもひとえに、ボウリングキャバンなど全国の競技力向上に取り組みられ、着実な発展を遂げておられます。関係者の皆様のご尽力の賜物であると心より敬意を表します。

また、今年もボウリング界は国内外で多くの大会の開催

輝ける2018年の新春を心からお慶び申し上げます。皆様にはお健やかにより新年をお迎えのことと、弊協会を代表してごあいさつを申し上げます。

JBC会員の皆様方には、常日頃から目協協の会員センターをご愛顧お引立て賜り、誠にありがとうございます。本紙上をお借りして厚くお礼を申し上げます。

政治的にも経済的にも不安定な時代が続いております。私共ボウリング業界も相変わらず厳しい状況が続いておりますが、嘆いていてもこの状況は決してよくなりません。

ボウリングは、老若男女問

公益財団法人 日本オリンピックピック委員会

会長 竹田 恒和



年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年のボウリング界は、アメリカのラスベガスで開催された世界選手権において、今井双葉選手が女子シングルスで日本初となる金メダルを獲得。男子もダブルスとトリオで銅メダルを獲得する活躍で1年を締めくくりました。この間、第3回世界シニア選手権においては女子チーム戦が初のメダル。アジアユース選手権でも女子個人総合の金メダルを含む4個のメダルを獲得

得するなど、ジュニアからトップ選手の強化が着実に進み、成果を挙げていることに敬意を表します。選手と指導者の皆様、そして全日本ボウリング協会関係者に改めてお祝い申し上げます。

本年8月には、インドネシアのジャカルタ・パレンバンで第18回アジア大会が開催されます。是非JOC派遣となる本大会においても多くの選手の活躍により、ボウリング競技の魅力発信していただけるよう期待しております。

さて、オリンピックの目的は、人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のと

公益社団法人 日本ボウリング場協会

会長 中里 則彦



わず、世界中の人々に愛されている素晴らしいスポーツです。

しかし、耐震問題等さまざまな理由でボウリング場の数が減少している中、現在のボウリング場を支えてくださっているのは、まさにボウラーの皆様方なのです。

昨年十一月から十二月にかけて、「世界ボウリング選手権大会男女大会2017」が開

催されました。女子シングルス戦の今井双葉選手が獲得した、世界選手権における日本勢二十六年振り、シングルス戦では男女を通じて初となる金メダルを皮切りに、本選手権大会において、日本選手団が複数のメダルを獲得しました。

ボウラー皆様方のご活躍が、未来のボウリング業界の道を切り拓き、その活躍は、

公益社団法人 日本プロボウリング協会

会長 谷口 健



2018年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

(公財)全日本ボウリング協会北川会長をはじめ、JBC会員の皆様におかれましては、お健やかに良き新年をお迎えのことと願います。

昨年度の国内外大会において、貴協会選手が素晴らしい成績を残されましたこと競技選手育成ならびに次世代を担うジュニアボウラー育成の活動などの取り組みに対して、心から敬意を表します。

2018年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

(公財)全日本ボウリング協会北川会長をはじめ、JBC会員の皆様におかれましては、お健やかに良き新年をお迎えのことと願います。

昨年度の国内外大会において、貴協会選手が素晴らしい成績を残されましたこと競技選手育成ならびに次世代を担うジュニアボウラー育成の活動などの取り組みに対して、心から敬意を表します。

その機運にあつて、アマチュアスポーツボウリングの普及及び振興にご尽力されている、公益財団法人全日本ボウリング協会には、敬意を払うと共に、ジュニアからシニアまでの幅広いボウラー層に深く感謝申し上げます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も再来年に迫り、国民のスポーツ志向も否応なく高まりつつあります。

日本ボウリング商工会

理事長 高橋 節雄



2018年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申

上げます。

JBC会員の皆様及びスポーツボウリング愛好者の皆様におかれましては、穏やかな良き新年をお迎えのことと存じます。

私共、日本ボウリング商工会会員各社において、旧年中

に賜りました格別のご厚情に深く感謝申し上げます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も再来年に迫り、国民のスポーツ志向も否応なく高まりつつあります。

その機運にあつて、アマチュアスポーツボウリングの普及及び振興にご尽力されている、公益財団法人全日本ボウリング協会には、敬意を払うと共に、ジュニアからシニアまでの幅広いボウラー層に深く感謝申し上げます。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も再来年に迫り、国民のスポーツ志向も否応なく高まりつつあります。

いつの日か必ずやオリンピック・パラリンピックにおけるボウリング競技の種目化へと繋がっていくものと信じております。

JBC会員ボウラーの皆様には、これからは是非私達と一緒にボウリングの素晴らしさを日本中の人々に伝えていくて頂ければ幸いです。

現在、国民またはマスコミの方々のボウリングに対する見方・イメージが、以前とは少しずつではありますが、明らかに変わってきています。新しい風が吹いてきているのです。

この風をとらえて、新たな

時流に乗るために、今まで以上に、業界がひとつになつて進んで行くべき時なのです。

弊協会は公益社団法人として、更なる社会貢献と共に、ボウリング業界のより一層の発展と前進のために、組織を挙げて取り組んでまいります。

北川会長はじめ、JBC会員皆様方の引き続きのご支援・ご尽力を、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のますますのご発展と、今年一年のJBC会員皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

もと今年一年邁進すべしと期待します。そして53年の伝統ある貴協会、全日本ボウリング協会様の大きな下支えのもとスポーツ文化として深く社会に根付くことを願うものであります。

この一年が、ボウリング業界にとって素晴らしい年になりますよう、そして貴協会初め皆様方の更なるご発展とご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶にかえさせていただきます。

第35回 全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会

2018/2/2金▶4日

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
主後援 公益財団法人 京都府体育協会 全国ボウリング公認競技場協議会
主管 全日本実業団ボウリング連合 一般社団法人 京都府ボウリング連盟

しょうざんボウル

〒603-8451 京都府京都市北区衣笠鏡石町47
TEL 075-491-5101 / FAX 075-495-2089
http://www.shozan.co.jp/shozan/bouring.html

JBC会長杯

第33回全日本年齢別ボウリング選手権大会

2018.2.10(土)▶12(月・祝)

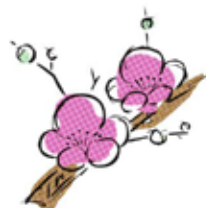
主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
主後援 大阪府 公益財団法人 大阪体育協会 スポーツ報知
全国ボウリング公認競技場協議会
大阪府ボウリング公認競技場協議会
主管 大阪府ボウリング連盟

イーグルボウル

〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-3-9
TEL 06-6394-3232 FAX 06-6397-0573
http://www.forjy.co.jp/eaglebowl/

あけましておめでとうございます

平成30年 元旦



オーディン協議会 会長 熊 和 敏 〒701- 岡山県瀬戸内市長船町長船 1245-1 4271 ☎ 0869-26-8870 FAX 0869-26-8871	日本ボウリング商工会 理事長 高 橋 節 雄 〒182- 東京都調布市深大寺東町 8-2-9 0012 ☎ 03-3371-2735 FAX 03-3371-2735	全国ボウリング公認 競技場協議会 会長 伊 藤 博 元 〒108- 東京都港区芝浦3-6-10-902 0023 ☎ 03-3453-2725 FAX 03-3798-7375 http://homepage3.nifty.com/jarba/	公益社団法人 日本プロボウリング協会 会長 谷 口 健 〒105- 東京都港区芝浦 1-13-10 0023 第三東運ビル 2F ☎ 03-6436-0310 FAX 03-3454-6140 http://www.jpba.or.jp/	公益社団法人 日本ボウリング場協会 会長 中 里 則 彦 〒140- 東京都品川区南品川 2-2-10 0004 南品川Nビル 3F ☎ 03-6433-0450 FAX 03-6433-0451 http://www.bowling.or.jp/
株式会社ウェルズホーム 代表取締役 菊 地 祐 司 〒963- 福島県郡山市富田東一丁目 310 番地 8047 ☎ 024-936-0660 FAX 024-936-0661 http://www.wells-home.com/	ファイテン株式会社 代表取締役 平 田 好 宏 〒604- 京都市中京区手洗水町678 8152 ☎ 075-229-7575 FAX 075-229-7509 http://www.phiten.com/	東海東京証券株式会社 代表取締役会長 最高経営責任者 (CEO) 石 田 建 昭 〒450- 愛知県名古屋市中村区名駅 4-7-1 6212 ☎ 052-527-1111 http://www.tokaitokyo.co.jp/	株式会社エナジックボウル 代表取締役 下 地 賀 寿 守 〒904- 沖縄県中頭郡北谷町美浜 9-8 0115 シーサイドスクエア 2F ☎ 098-926-3939 FAX 098-926-3800 http://www.enagicbowl.com/	パナソニックリビング 首都圏・関東株式会社 代表取締役社長 鶴 原 栄 一 〒104- 東京都中央区築地5丁目6番 10 号 0045 浜離宮パークサイドプレイス 8F ☎ 03-5565-2400 FAX 03-5565-2410 http://panasonic.co.jp/es/peslsk/
日本エボナイト株式会社 代表取締役社長 島 光 一 〒144- 東京都大田区西六郷4-36-5 0056 ☎ 03-3731-2271 FAX 03-3731-2274 http://www.nichi-ebo.co.jp/	レジェンドスター株式会社 代表取締役 高 橋 節 雄 〒182- 東京都調布市深大寺東町 8-2-9 0012 ☎ 042-480-2341 FAX 042-480-2344	株式会社ハイ・スポーツ社 代表取締役社長 川 島 幸 一 郎 〒222- 神奈川県横浜市港北区鳥山町 1259 0035 ☎ 045-471-9445 FAX 045-471-9447 http://www.hi-sp.co.jp/	サンブリッジグループ 株式会社サンブリッジ 株式会社サンリッチインターナショナル 代表取締役 橋 本 政 明 〒654- 神戸市須磨区弥栄台1丁目10-3 0161 ☎ 078-797-6230 FAX 078-797-6231 http://www.sunbridge-group.com/	株式会社 アメリカンボウリングサービス 代表取締役会長 渡 邊 保 代表取締役社長 伊 東 正 美 〒143- 東京都大田区北馬込1-1-1 0021 ☎ 03-5718-7111 FAX 03-5718-7112 http://www.absbowling.co.jp/
株式会社 アイワ徽章 代表取締役 村 松 寛 治 〒105- 東京都港区新橋 1-18-12 0004 ☎ 03-3503-0031 FAX 03-3503-0034 http://www.aiwakisho.co.jp/	株式会社キックファクトリー 代表取締役 北 村 敏 彦 〒150- 東京都渋谷区渋谷 2-2-5 0002 クルスビル 7F ☎ 03-3406-7021 FAX 03-3406-7023 http://www.kic-factory.co.jp/	株 式 会 社 ジ ー ン 代表取締役 平 尾 徹 〒150- 東京都渋谷区渋谷 2-2-5 0002 クルスビル 7F ☎ 03-3797-7340 FAX 03-3406-7023 http://www.jeen.co.jp/	ミーフコーポレーション 寺 村 眞 代 〒533- 大阪市東淀川区東淡路 2丁目3-28 0023 ☎ 06-6325-1171 FAX 06-6325-1170 teramura@iris.ocn.ne.jp	株式会社 アサヒボウリングサービス 代表取締役 福 森 建 司 〒350- 埼玉県川越市南田島843-1 0027 ☎ 049-226-4050 FAX 049-226-4061
長崎県ボウリング公認 競技場協議会 会長 川 添 徳 也 〒850- 長 崎 市 愛 宕 2-7-4 0822 ☎ 095-825-0763 FAX 095-825-0763	愛媛県ボウリング公認 競技場協議会 檜 垣 哲 也 〒794- 今 治 市 延 喜 甲 198-1 0084 桑名ボウル内 ☎ 0898-23-1707 FAX 0898-32-1511	福岡県公認ボウリング場協会 会長 秀 嶋 康 成 〒811- 福岡県糟屋郡篠栗町尾仲 1187-1 2413 ☎ 092-410-6911 FAX 092-410-6912	広島県ボウリング場協会 会長 古 本 和 久 〒731- 広島市佐伯区皆賀4丁目19-6 5124 ミスガーデン棟内 ☎ 082-922-5161 FAX 082-922-5132 http://www.bpah.or.jp/	有限会社イトダネーム 東京支店 代表取締役 井 戸 田 剛 〒162- 東京都新宿区早稲田鶴巻町 545 0041 ☎ 03-5225-3400 FAX 03-5225-3401 http://www.itoda-m.co.jp/
株式会社 フォーティ イーグルボウル 代表取締役 大 薮 芳 崇 〒532- 大阪市淀川区宮原4-3-9 0003 ☎ 06-6394-3232 FAX 06-6397-0573	株式会社 星ヶ丘ボウル 代表取締役社長 水 野 茂 生 〒464- 名古屋市中千種区星ヶ丘元町16-45 0802 ☎ 052-781-5656 FAX 052-781-5663 http://www.hoshigaoka.co.jp/	株式会社 マ ル 斗 山形ファミリーボウル 代表取締役 井 上 智 之 〒990- 山 形 市 北 町 2-2-4 5 0821 ☎ 023-684-1601 FAX 023-684-5055 http://www.marui.co.jp/YFB/	株式会社イースタンスポーツ 代表取締役会長 中野啓二郎 代表取締役社長 中 野 明 〒151- 東京都渋谷区代々木2-11-15 0053 新宿東京海上日動ビル9F ☎ 03-3379-7333代 FAX 03-3320-4126 http://www.starlanes.co.jp/	株式会社グランドボウル 代表取締役社長 原 澤 謙 司 〒459- 愛知県名古屋市中区大高町忠治山 12-1 8001 名古屋グランドボウル 3F ☎ 052-623-7535 FAX 052-623-2548 http://www.grandbowl.jp/
	ボウリングジャーナル社 代 表 津 田 浩 〒532- 大阪市淀川区宮原1-19-23 0003 ス튜디오新御堂702 ☎ 06-6393-0255 FAX 06-6393-0257	エースランド株式会社 宮崎エースレーン 代表取締役社長 藤 元 良 一 〒880- 宮崎市高千穂通1-3-22 0812 エースランド内 ☎ 0985-25-6262 FAX 0985-25-5305 http://www.aceiland.jp/	森 興 産 株 式 会 社 スエヒロボウル 代表取締役社長 森 博 史 〒770- 徳 島 市 南 末 広 町 4-9 5 0865 ☎ 088-625-2256 FAX 088-652-3052 http://www.suehiro-bowl.co.jp/	株式会社しょうざん しょうざんボウル 代表取締役社長 松 山 靖 史 〒603- 京都市北区衣笠鏡石町47 8451 ☎ 075-491-5101 FAX 075-495-2089 http://www.shozan.co.jp/
	株式会社 イマジンクリエイション 代表取締役 柴 山 均 〒140- 東京都品川区東大井2-25-1 2F 0011 ☎ 03-6436-8910 FAX 03-6436-8912	東 洋 ネ ー ム 工 業 社 長 島 隆 三 〒615- 京都市右京区西京極大門町12 0812 ☎ 075-313-0115 FAX 075-311-6271 http://www.toyoname.jp/	株式会社サンシステムサービス 代表取締役 石 川 年 子 〒230- 横浜市鶴見区鶴見中央4-11-11 0051 鶴見クリーンハイツ303号 ☎ 045-521-8156 FAX 045-506-4200 sun.s.s@nifty.com	(株)ベースボール・マガジン社 ボウリング・マガジン 代表取締役社長 池 田 哲 雄 〒103- 東京都中央区日本橋浜町2-61-9 8482 TIE浜町ビル ☎ 03-5643-3893 FAX 03-5643-3894 http://www.bbm-japan.com/

本年もよろしくお願ひ申し上げます

監 事
岸 邊 輝 彌
張 ケ 谷 和 朗
三 鬼 一 朗
近 藤 浩 一
犬 島 宗 男
金 谷 志 信
松 下 秀 雄
高 橋 尚 代
米 澤 満
西 林 康 憲
川 井 敏 孝
伊 藤 芳 寛
塚 田 和 久
四 宮 和 裕
荻 野 伸 二
不 破 利 和
金 岡 京 子
森 岡 信 夫
砂 古 直 亮
専 務 理 事 佐 藤 良 太 郎
事 務 局 理 事 齋 藤 日 出 男
顧問 白 井 英 弘
副 会 長 山 本 英 隆
会 長 吉 岡 川 北 薫

二〇一八年 元旦

公益財団法人
全日本ボウリング協会

メモリアルイヤーに初制覇

第50回

全日本実業団選手権大会

第50回全日本実業団選手権大会が11月24日(金)から26日(日)にかけて、静岡・浜松毎日ボウル(公認No.121・065)で開催された。50回目を迎えた実業団の最高峰に、全国から53チームが集まった。

5人チームでの優勝争いは最終ゲームまでもつれ込み、北陸電力石川支店(石川)が悲願の初制覇を遂げた。

開 会 式

大会初日の11月24日(金)10時から開会式が執り行われた。前回優勝のトヨタ自動車(愛知)から優勝旗が返還されて開幕の準備が整った。主催者を代表して齋藤良太

毎日企業鈴木専務



の優勝を狙う激戦に突入した。

競 技

予選1回戦、北陸電力石川支店A(石川)は2ゲーム目



深澤選手が宣誓

の1239(アベリッジ247)を含め3ゲームとも1100超にまとめる好投で、トータル3471を記録した。神奈川県実業団OBクラブ(神奈川)と日産自動車追浜(神奈川)は8マーク差で2位、3位に並んだ。2回戦も3229と好スコアの北陸電力石川支店Aだったが、日産自動車追浜は3318と打ち上げてトータル6706。わずかに6ピン上回って首位を奪った。

3回戦も日産自動車追浜は好調。3ゲーム目に1211

をマークして、このシリーズ3367をマークした。北陸電力石川支店Aは3242を打つも、131ピンの差をつけられてしまう。3位につけていたトヨタ自動車A(愛知)は3358で、北陸電力石川支店Aと25ピンの差まで追ってきた。

決勝1ゲーム目に波乱が起こった。日産自動車追浜は993と大ブレイク、北陸電力石川支店Aは1183で再び首位に立った。59ピンのリードで迎えた2ゲーム目、北陸電力石川支店Aは1054を

行い、上位28チームが決勝に進出。さらに3ゲームを行い、予選からのトータルピンで順位を決定する。今大会は4つのパフォーマンクゲームも記録され、優勝スコアも大会記録(13400)に迫る高得点というハイスコアな大会となった。

土方 捷		神奈川県	20歳
使用ボール		Torrent(15p2oz)	
公認ドライバー		矢野金太 (公認No. 0670-14)	
田中 椋也		石川県	22歳
使用ボール		Kinetic Emerald(15p)	
公認ドライバー		川崎拓也 (公認No. 1177-19)	
和泉 佑耶		石川県	26歳
使用ボール		Forta(15p)	
公認ドライバー		川崎拓也 (公認No. 1177-19)	
平山 大輔		東京都	37歳
使用ボール		Jackal Ghost(14p14oz)	
公認ドライバー		木村 仁 (公認No. 0807-13)	

個人

予選における男女各上位3名を表彰。男子はチーム優勝メンバーの田中椋也(北陸電力石川支店A/石川)が1回戦で777をマークして、79で全くの同ピンに。初優勝のかかる北陸電力石川支店Aと、連覇を狙うトヨタ自動車Aの勝負の1ゲームは、1066対1048で北陸電力石川支店Aに軍

大会において、4名の選手がパーフェクトゲームを達成した。大会第13号 土方捷選手(神奈川・やまびこ)▽大会第14号 田中椋也選手(石川・北陸電力石川支店)▽大会第15号 和泉佑耶選手(石川・北陸電力石川支店)▽大会第16号 平山大輔選手(東京・大田区役所)

(株)の各社より記念品が贈呈された。



北陸電力石川支店



第50回全日本実業団ボウリング選手権大会 成績表

参加: 53チーム 276名		2017年11月24日(金)~26日(日)	
		会 場: 静岡・浜松毎日ボウル	
5人チーム戦 (5×12G)			
優 勝	北 陸 電 力 石 川 支 店 A (石 川)	渡邊元造・木谷哲也・渡邊純乃 安田昌樹・田中椋也	13,245
準 優 勝	トヨタ自動車 A (愛 知)	阿部広知・本多悟・宗本弘三 鈴木貴光・嘉指康之	13,227
第 3 位	日 産 自 動 車 追 浜 (神奈川)	首野紀夫・府川裕行・清水寿之 深石智彦・広津守人	13,088
第 4 位	金 沢 市 役 所 (石 川)	清水正弘・吉田伸也・松原真珠 奥村一世・中倉啓太・中村和弘	12,925
第 5 位	神奈川県実業団 O B クラ ブ (神奈川)	安藤博・大島竜一・葛西達男 寺口則治・依藤章	12,910
第 6 位	小 糸 製 作 所 A (静 岡)	寺下裕基・北風慎雄・寺下真 大城夏哉・小林慎治	12,856

個人 男子 (9G)			
第 1 位	春 田 恒 平 (茨城・日立製作所)		2,205
第 2 位	田 中 椋 也 (石川・北陸電力石川支店A)		2,191
第 3 位	嘉 指 康 之 (愛知・トヨタ自動車A)		2,169
個人 女子 (9G)			
第 1 位	夏 目 美 和 (愛知・デンソーA)		1,873
第 2 位	加 藤 め ぐ み (広島・呉市役所)		1,847
第 3 位	奥 村 一 世 (石川・金沢市役所)		1,846

ハイゲーム・ハイシリーズ			
チーム ハイゲーム	デ ン ソ ー A (愛 知)	中川岳史・夏目美和・宮次良典 夏目佳功・高野正美・梅田学	1,262
チーム ハイシリーズ	北 陸 電 力 石 川 支 店 A (石 川)	渡邊元造・木谷哲也・渡邊純乃 安田昌樹・田中椋也	3,471
個人ハイゲーム	土 方 捷 (神奈川・やまびこ)		300
個人ハイゲーム	田 中 椋 也 (石川・北陸電力石川支店A)		300
個人ハイゲーム	和 泉 佑 耶 (石川・北陸電力石川支店B)		300
個人ハイゲーム	平 山 大 輔 (東京・大田区役所)		300
個人ハイシリーズ	深 澤 一 敏 (静岡・ユニプレス)		781



大会において、4名の選手がパーフェクトゲームを達成した。大会第13号 土方捷選手(神奈川・やまびこ)▽大会第14号 田中椋也選手(石川・北陸電力石川支店)▽大会第15号 和泉佑耶選手(石川・北陸電力石川支店)▽大会第16号 平山大輔選手(東京・大田区役所)

(株)の各社より記念品が贈呈された。

和歌山北&
国士舘が優勝

文部科学大臣杯



文部科学大臣杯第24回全国高等学校対抗選手権大会が12月22日(金)から24日(日)にかけて、神奈川県・川崎グラウンドボウル(公競No.114・023)で開催されました。

全国から高校チームが集まる「ボウリングの甲子園」、男子は国士舘高等学校(東京)、女子は県立和歌山北高等学校(和歌山)がその頂点に立ちました。男子の部、国士舘は決勝トーナメント一回戦でトップ通過の県立和歌山北高等学校(和歌山)を破る、そのまま勝ち上がり優勝を決めました。女子の部では、昨年準優勝の和歌山北が2位通過。決勝も好ゲームをマークし続けて雪辱を果たしました。両校悲願の初制覇で、文部科学大臣杯を獲得しました。

【詳細は次号】

第24回全国高等学校対抗選手権大会



JBC公認ドリラー 有資格者研修会

神奈川県でブロンズコース開催

JBC公認ドリラー有資格者研修会・ブロンズコースが12月6日(水)・7日(木)の両日、神奈川県・スポーツ八景ボウルで開催されました。

JBC認証部会員の日坂義人ドリラー、棚橋孝太郎が講師を務め、ドリルの基礎知識とドリルをとりまく最新事情を丁寧に解説しました。

ブロンズコースはドリルのスペシャリストを目指すスタートとなる研修です。単に知識を得るだけでなく、メジャーの実習やボールの動きの実験などを通して、ドリラーが担う役割を深く掘り下げていきました。またディスカッションの場も設け、質疑や意識を高めていきました。

メジャー実習する受講者

平成29年度
各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	平成29年12月26日現在	
		競技会 公認件数	リーグ 公認件数
北海道地区	北海道	32	87
	青森	33	46
	岩手	22	71
	宮城	29	104
東北地区	秋田	18	42
	山形	22	61
	福島	19	3
	茨城	18	
関東地区	栃木	11	28
	群馬	18	67
	埼玉	38	116
	千葉	25	68
北信越地区	東京	24	14
	神奈川	32	60
	山梨	17	32
	新潟	21	
北信越地区	長野	11	45
	富山	22	100
	石川	21	46
	福井	9	2
東海地区	静岡	42	120
	愛知	59	227
	岐阜	32	99
	岐阜	38	71
関西地区	滋賀	38	150
	京都	55	50
	大阪	38	7
	兵庫	26	30
中国地区	奈良	16	16
	和歌山	14	11
	鳥取	12	18
	岡山	51	100
四国地区	山口	15	17
	広島	13	23
	香川	19	33
	徳島	10	27
九州・沖縄地区	愛媛	15	4
	高知	1	6
	福岡	50	116
	佐賀	9	10
全日本学生連合	熊本	26	49
	大分	21	40
	宮崎	16	81
	鹿児島	23	74
総計	沖縄	22	58
		13	2
		1,149	2,437
		447	



11月20日(水)から12月10日(日)にかけてマレーシアで開催された「第18回ミロインターナショナルジュニアオールスターズ」で優勝した石田選手

「イベントカレンダー」

1月&2月

▽1月9日(火)14日(日) 全日本シニアチームメンバーウィントークキャンプ 沖縄・エナジックボウル美浜

▽1月19日(金)21日(日) 第46回全日本クラブ対抗選手権大会 福岡・博多スターレーン

▽2月2日(金)4日(日) 第35回全日本実業団都市対抗選手権大会 京都・しょうぎんボウル

▽2月10日(土)12日(月) 祝 JBC会長杯第33回全日本年齢別選手権大会 大阪・イグルボウル

▽2月20日(火)22日(木) 第49回全日本大学個人選手権大会 神奈川・川崎グラウンドボウル

▽2月24日(日) 全日本ジュニア強化コーチ研修会(西地区) 大阪・イグルボウル

▽2月25日(日) 全日本ジュニア強化コーチ研修会(東地区) 東京・シチズンボウル

International Headline

ミロインターナショナル選手権で日本選手が大活躍

12歳以下女子の部を制した石田選手

11月20日(水)から12月10日(日)にかけてマレーシアで開催された「第18回ミロインターナショナルジュニアオールスターズ」で優勝した石田選手

「選手権」で日本選手が好成績を残しました。12歳以下女子の部で石田万音選手(兵庫)が優勝。12歳以下男子の部では座波政斗選手(沖縄)が準優勝を果たしました。そしてクレイデッド部門で荒川沙里選手(学連)が優勝を飾りました。

12歳以下は男女とも、3ゲームの予選を行い上位者がファイナルに進出。スコア持込みなしで8ゲームを投球し、最終順位を決定しました。石田選手は海外での大会でありながら、小学生としてはレベルの高い1576ピン(アベレージ197)をたたき出しました。座波選手もアベレージ116の好スコアをマーク。熾烈なトップ争いの末、惜しくも準優勝となりました。

21歳以下の選手によるクレイデッド部門は、予選の後ファイナル10ゲームを行いました。荒川選手はスタートの2ゲームで501をマークしました。その後は海外の有力選手と競り合いとなりましたが、最後の231で逆転優勝。アベレージ213の好投でした。

第46回全日本クラブ対抗
ボウリング選手権大会

2018年1月19日(金)~21日(日)

ココロ、カラダ、元気!

STARLANES 博多スターレーン

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-18-33

TEL 092-451-4321

http://www.starlanes.co.jp/hakata/

主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会

後援 公益財団法人 福岡県体育協会
全国ボウリング公認競技場協議会
福岡県公認ボウリング場協会

主管 福岡県ボウリング連盟

JBC

公益財団法人全日本ボウリング協会

団体

Facebook

JBC

JBC公式Facebookページ OPEN!

https://www.facebook.com/japanbowlingcongress/

「公益財団法人全日本ボウリング協会」で検索

公益財団法人 全日本ボウリング協会 www.jbc-bowling.or.jp



日本のプロアマすべてのボウラーによる真の王座決定戦『ROUND1 GRAND CHAMPIONSHIP BOWLING 2018』が2018年1月から発動します。JPBA（公益社団法人日本プロボウリング協会）、NBF（日本ボウラーズ連盟）とJBC（公益財団法人全日本ボウリング協会）が共同主催するこの大会は、全国で開催される予選会、代表決定戦となる

全国大会を経て、3つの団体が誇るトッププレイヤーが決戦の地『グランドチャンピオンシップ』で激突する一大プロジェクトです。

プロアマ問わず獲得できる賞金は、プロジェクト総額で3000万円。「日本でいちばん強い」ボウラーが、ここに決定します。

大会概要

男女別×3つの年代別、全6部門の個人戦

レギュラー男子
レギュラー女子

年齢制限
なし

シニア男子
シニア女子

50歳以上

グランドシニア男子
グランドシニア女子

65歳以上

※年齢は2018年(平成30年)1月1日現在 ※実年齢より若い部門へのエントリーもOKです。

3つのステップでグランドチャンピオンを決定

1 JBC 予選会

JBC 会員ボウラーはもちろん、未登録のアマチュアボウラーも参加できます。
(*一時会員登録が必要)

2018年1月スタート
全国19都市で22回開催
複数回参加もOK

各回上位者は
JBC 全国大会への出場権を獲得

2 JBC 全国大会

全国での予選を勝ち抜いたボウラーたちによる、JBC 代表決定戦
2018年9月22日(土)
ラウンドワンスタジアム 堺中央環状店にて開催

各部門上位選手は
グランドチャンピオンシップ大会に進出

さらに上位者には
賞金を贈呈(賞金総額 400万円)

3 グランドチャンピオンシップ

JPBA・JBC・NBF を代表するボウラーが、グランドチャンピオンの座を争う

2018年11月10日(土)
ラウンドワン南砂店にて開催

プロアマ問わず
優勝・上位入賞者に賞金を贈呈
総額は1660万円!

JPBA・NBFでも大会開催 —代表選手を選抜—

記者発表で開催宣言! JPBA JBC NBF トップと注目選手が勢ぞろい

大会開幕を控えた12月12日(火)、記者発表が行われました。大会を共同主催するJPBA、NBFとJBCの会長・理事長が顔をそろえ、各団体から見た日本のボウリング界と、この大会を通じて見据える未来を語りました。

JBC 北川会長は「JBCはアスリートボウリングという視点。世界選手権で金メダル、銅メダルという成果も上げました。賞金総額3000万円という大変な額を提示していただき喜んでおりますが、これからのボウラーの大きな目標になると思っております」と、この大会が選手のボウリング観を変化させるきっかけになると示唆しました。

各団体はそれぞれ予選会と全国大会を行い、代表選手をグランドチャンピオンシップへと送り出します。開催概要と選手の選抜方法、そしてグランドチャンピオンシップの競技方法が解説されました。そして大会を心待ちにしているボウラーを代表して、3団体のトッ



(左から)JPBA 谷口健会長、JBC 北川会長、NBF 白石雅俊理事長

プ選手たちが登場。シニアエイジの星であるJBCの村上武男選手(神奈川県)は「67歳ということで、健康維持、心身を鍛える意味で大切なスポーツ。私のようにボウリングをこよなく愛する者にとっては、非常にモチベーションを刺激される大会です。ボウリングがより一層盛り上がり、選手たちの立場として協力したい」と語りました。向谷美咲選手(千葉)は全日本ナショナルチームのキャプテンという立場からも「今回の開催を聞いたときには、非常にワクワクするものがありました。プロボウラーの皆さんに挑戦することはもちろん、私たちが日々やっていることを試す非常に大きな舞台。ナショナルチームとしては、この大会で勝利を獲りたい」と意欲を示しました。



日本ボウリング界「真の王者」がここに決定
賞金総額3000万円
プロアマ問わず獲得可能

▶アマチュア誰でも参加できるJBC予選会 全国19都市で22回開催

▶全国大会でJBCボウラーの代表を選出
9月22日(土) ラウンドワンスタジアム堺中央環状店(大阪府堺市)

▶グランドチャンピオンシップ
—JPBA・NBF・JBCの代表選手が激突—
11月10日(土) ラウンドワン南砂店(東京都江東区)

主催: JPBA JBC NBF 特別協賛: ROUND1

エントリーはこちらから <http://www.jbc-bowling.or.jp/gcb/>